

《校訓》 自主自律

《学校教育目標》「志を持ち、学び合い、高め合う」生徒



群 青

小山中学校だより
第8号 H28. 12. 8

各学年において『進路』について考える行事を開催しました

変化の激しい情報化社会・グローバル化の時代を生きていく生徒に、確かな職業観を育み、進路の第一歩を踏み出させることは、中学校における教育活動の大きな柱の一つです。小山中学校では、10月から11月にかけて、地域の企業・事業所の皆様に御協力をいただき、1年生は「職場見学」を、2年生は「職場体験」を実施しました。3年生は、沼駿地区の高等学校担当者が来校し、生徒・保護者に「進路説明会及び高校説明会」を開催しました。



1年生職場見学



2年生職場体験



3年生進路説明会

このように、小山中学校では地域の皆様のお力を借りながら、3年間の見通しを持ち、継続的な進路指導（キャリア教育）を進めています。

学校保健委員会「あなたとメディアの関係を考える」

11月2日(水)、学校保健委員会を開催しました。「あなたとメディアの関係を考える」をテーマとして、保健委員会の生徒が準備・運営を進め、生徒参加型の話し合いを進めました。生徒へのアンケート結果から見えてくる、小山中生とスマートフォンやネットとの関わり方についてグループで討議し、課題と改善点について全体で意見を交流しました。当日は、内科校医の岩田様、学校歯科医の小野様、学校薬剤師の芹澤様、も来校し、指導助言をいただきました。

メディアを便利な機器として主体的に活用できる中学生となり、心身ともに健康な生活を送るための貴重な機会となりました。御家庭においても引き続き、スマートフォンやネットとの適切な関わり方について御指導を頂きたいと思えます。



11月の表彰

《駿東地区作文コンクール》

(敬称略)

生活文 (特選) 2年 高橋優菜 1年 笠原元和
(入選) 3年 望月雅也 3年 鈴木るか 2年 名川芙優
(佳作) 3年 渡邊愛子 2年 金子芽生
論説文 (入選) 3年 岩田いずみ
詩 (入選) 1年 高橋実由希 (佳作) 3年 吉田真子

《富士山自然保護大賞ジュニア》

小山町長賞 1年 小野広翔 特別賞 1年 伊藤千晶
優秀賞 1年 齋藤萌絵 1年 高橋実由希

《税に関する作品コンクール 作文の部》

小山町長賞 3年 大屋里沙 小山町納税推進協議会長賞 3年 芹澤里奈
奨励賞 3年 井上拓海 3年 臼井捷翔 3年 藤曲香乃
3年 渡邊愛子

《富士山少年俳句大会》

奨励賞 1年 糸賀里菜 入選 1年 伊藤千晶 1年 池谷日陽

《富士マラソンフェスタ》

男子中学生 第1位 3年 細谷 悠人
女子中学生 第2位 2年 池谷 撈紀

インフルエンザの流行期を前に

全国的にインフルエンザの流行が始まっています。小山中学校では、流行のきざしが見られた場合、以下のように予防等に努めますので御協力下さい。

- ①うがい手洗い、マスクの着用を徹底します。御家庭においても同様の予防を御指導下さい。
- ②保健室で休むのは原則、最大1時間です。回復が見られない場合は早退の連絡をします。流行期には多くの生徒が来室し、休養してようすを見ることもほとんどできなくなる状況ですので、お忙しいとは思いますがお迎えをお願い致します。

子育てコラム④

「あの時こうしていれば…」

私たちは、子どもよりも多少長く生きているので、物事の最短距離を知っています。特に自分が中学時代にうまくいかなかったことに対しては「あの時こうしていれば…」という思いから、子どもに最短距離を要求したくなるものです。「もっと練習をすればいいじゃないの」「なんでこんな簡単なミスをするんだ」と。

しかし、「あの時こうしていれば…」が元になっている話の多くは、子どもの心に響きません。目線が子どもに向いていないからです。

中学時代に「あの時、こうして(こう言って)ほしかった」と思っていたことを、子どもにしたり、言ったりしてあげたらどうでしょうか。目の前の子を、あの時の自分だと思って。

教育相談の日程

(※問い合わせは小山中学校〈76-0154〉まで)

スクールカウンセラー (砂山 SC)

12/13(火)・1/10(火)・1/17(火)・1/31(火)

学校医相談 (岩田先生)

12/13(火)・1/16(月)・2/15(水)・3/14(火)

スクールソーシャルワーカー (窪田 SSW)

12/21(水)午前